

ゴールデンウィークです。日本列島は縦に長いので南は初夏、北は桜が真っ盛りだと思います。今年は連休の谷間に三日間の平日が挟まっているので国内旅行がブームとのこと。とはいえ、学校ではクラブの公式戦がはじまり、先生方はほとんど休む暇もない日々をすごされていると思います。部活動という活動形態はよくも悪くも日本独特なのかもしれません。学校がいろいろなものを抱え込みすぎている典型例でしょうが、教室を離れた生徒との密接な関係は教育の原点でもあり、一概には否定できない難しい問題です。

今月も、そんな多忙な先生方の力になるような情報提供や活動の情報を報告いたします。

◆ 目次

【 1 】 最新活動報告

4月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

■ 東京部会 (No.57) を開催しました。

日時：2013年4月18日(木) 19時00分～21時30分

場所：日本大学経済学部本館2階会議室

内容概略：参加者14名。夏休み経済教室の細部をつめ、内容を確定しました。

準備ができ次第ネットワークのHPや東証HPにアップ予定しています。

案内ちらしが出来次第送付準備に入ります。また、各地の研究会などへの働きかけも可能な限り行うことを確認しました。

篠原先生より、年次総会の総括と今後の行事の確認がありました。総会については、内容の濃いディスカッションを通じて、あらためて経済学と法学の発想の差異が明確になったとの総括がされました。また、2014年3月に年次大会を京都で開くことを前提に調整を進めることになりました。あわせて今後のWSや経済教室についての検討が行われました。

新井より授業に役立つ本で、これまで100回分、2006年11月から2012年12月に取り上げられた239冊が整理され紹介されました。

<http://www.econ-edu.net/reference/books.html>

にて順次まとめてアップしていく予定です

高橋先生（桜修館中等）より、大田弘子氏を学生とともに訪問し、TPP の効用を学生に説明してもらった報告がありました。また、関連してアベノミックスに関する出席の先生方からの質疑がありました。

宮尾先生より「書評『高校生からの経済データ入門』」が配布されました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo057report.pdf>

■大阪部会（No.33）を開催しました。

日時：2013年4月27日（土） 18時00分～20時00分

場所：同志社大学大阪サテライト

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka33report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。

■4月以降の予定

(1) 札幌部会（No.7）を開催します

日時：2013年5月18日（土） 14時30分～17時00分

場所：会議・研修施設 ACU [アキュ]

札幌市中央区北4西5 アスティ 45 12F,16F

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo007flyerRvsd.pdf>

(2) 京都部会（No.19）を開催します

日時：2013年5月24日（金） 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto019flyer.pdf>

(2) 東京部会（No.58）を開催します

日時：2013年5月28日（火） 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部（部屋は未定）

参加方法など詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo058flyer.pdf>

(2) 大阪部会 (No.34)を開催します

日時：2013年7月13日(土) 18時00分～20時00分

場所：未定

参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka34flyer.pdf>

■夏休み経済教室のプログラムが確定しました

日程は以下のとおりです。

2013年8月1日高校向け, 2日中学向け 名古屋(ウインクあいち)

同 8月5日中学向け, 6日高校向け 大阪(天満橋・国民会館)

同 8月8日中学向け, 9日高校向け 福岡(天神ビル)

同 8月12, 13日 東京高校向け(東証)

同 8月19, 20日 東京中学向け(東証)

内容では、講演に真壁昭夫先生(信州大)「中高生におしえたい時事問題」、

講義に小巻泰之先生(日本大)による「教科書で読み解く景気変動」、

野間敏克先生(同志社大)による「教科書で読み解く<バブルとその崩壊>」および

「同<農業問題>」、篠原代表(同志社大)「歴史を経済から読み解く<世界恐慌>」

などが予定されています。また、「経済の授業をエコノミストとつくる」という

現場教員と経済学者の連携プログラムを新たに各会場で行います。

大竹文雄先生(大阪大学)の行動経済学に関する講義も計画されています。

中学校向けでは、経済教育の関係者も含めての「みんなで話そう」の時間も予定されています。

確定した内容とその案内は5月中旬には行われる予定です。

また、文科省や金融広報中央委員会をはじめとして各地の教育委員会、研究団体の後援もいただける予定です。内容をさらにブラッシュアップした「夏休み経済教室」にぜひご参加ください。

【3】授業のヒント

■「新聞速読」ドリル

新聞を授業で活用することに関してはこの欄で何回か書いています。今回もその一つです。

新聞を切り抜いてスピーチさせることの逆がこの方法です。わたしの同僚が実際にやっている方法です。

やり方は簡単。面白そうな記事、役立ちそうな記事を切り抜き、B5版くらいの用紙に貼り付け印刷し、その要旨を5分間で読ませ、要約を5分間で書かせるというドリルです。

短時間でやるのが肝心なので、内容はコラムのようなものや、暇ネタのようなものをおすすめです。

この効用は、全員が参加すること、集中力がつくこと、表現力がつくことなどで

「言語活動の充実」にも効果アリです。また、チェックも簡単。回収して評価して、

それを返却してファイルをさせておけば時事問題リストが完成します。

間隔としては2単位授業であるなら、2から3週間に一度程度。学期に4から5回できれば上出来でしょう。この種の試みは継続こそ力です。新聞を家庭で購入していない生徒も増えています。それへの配慮にもなります。(新井)

【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

文武両道を校是にしている学校に勤務されている先生方も多いことだろうと思います。部活も行事も勉強も目いっぱいがんばろうという趣旨です。教育の理想ですが、はたしてこれは可能か？

先月、日本ハムの大谷翔平選手の二刀流をとりあげました。経済学的にはだめだと書いたのですが、これはミスリードだとの指摘をうけました。私は原点に凸の生産可能曲線をイメージして書いたのですが、特化が経済学的に正解かという点では、そうでない解もあるという指摘です。これは「範囲の経済」という概念で説明するそうです。例えば鉄道会社が旅客用と貨物用を同一会社で、また同一路線で運営することをイメージすればよいとのことでした。

別のイメージでは、大リーグボール養成ギブスできたえた星飛雄馬は投手も打者もできるということなのだそうです。うーん、確かにそういう面もあるなとオーバーランを反省。とはいえ、そんなに無理をして頑張る必要があるのかなどと考えてしまうのは、「さとり世代」の先駆の、だめ団塊の‘たはこと’かもしれません。(新井)

追記：前号で紹介した『おかね道』に行ってきました。
感想を「オープン討論室」に書いております。



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

(C) Network for Economic Education ◆◆